

令和7年度大阪市版チャレンジテスト plus 実施業務委託提案書作成要領

1 次の(1)～(4)を作成し、提出期日までに正本及び副本を提出すること。

※ 正本1部……提案者名を記載したもの

※ 副本4部……提案者名や提案者が推測されるもの（例：提案者の業績）の記載がないもの

(1) 表紙 別添の様式1－1及び様式1－2のとおり

(2) 資料

- ① 学力調査等の実績
- ② 業務計画
- ③ 業務実施体制・責任者
- ④ 問題作成の方針
- ⑤ 問題数（小問）及び形式（選択式、短答式、記述式）別問題数について、本テストの目的達成に資する設定
- ⑥ 配慮版の作成実績
- ⑦ テスト資料の設計・作成
- ⑧ 配送・回収の仕組み
- ⑨ 指定された期間内で迅速かつ正確に採点・集計を行う仕組み
- ⑩ セキュリティ体制
- ⑪ 各工程におけるセキュリティ
- ⑫ 緊急事態等への対応

(3) サンプル問題

次の内容に基づき、サンプル問題を2種類作成すること。

	形式	小問数	領域等	評価の観点	問題作成の留意点
社会	選択式	1 問	地理的分野 歴史的分野	知識・技能	各州について、そこで暮らす人々の生活の様子を範囲とする。 「世界の古代文明」について、諸文明の生活技術の発達、文字の使用、国家のおこりと発展などの共通する特色を範囲とする。
	短答式	1 問		思考・判断・表現	
	記述式	1 問			
理科	選択式	1 問	物理的領域 化学的領域 生物の領域 地学的領域	知識・技能	「電流とその利用」 「化学変化とイオン」 「生物の体の共通点と相違点」 「気象とその変化」を出題範囲とする。
	短答式	1 問		思考・表現・表現	
	記述式	1 問			

* 社・理の領域、問題作成の留意点については で示した範囲を作成すること。

(4) 解答用紙及び個人票のサンプル

解答用紙は全教科について提案すること。

2 提案書を作成するに当たり、次の点に留意すること。

(1) 表紙については様式 1 の形式を使用すること。

(2) (1)以外の提出資料については、様式は問わないが、次の点を順守すること。

- ① サンプル問題（2 種類）については教科ごとにページを異にし、解答例も併せて提示すること。
- ② A 4 縦置き of ファイルに綴じること。
- ③ A 3 用紙を使用する場合は、横折り込みとすること。
- ④ ファイルの背表紙に業務名及び正本又は副本の別を明示すること。
- ⑤ ページ数を記載すること。